

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2021年8月1日



## 9月議会に敬老乗車証条例改悪提案!?

「70歳」を「75歳」に、三分の一も制度から追い出す?

大幅な公共料金値上げや市民サービス切り捨てをねらう、市長の「行財政改革計画案」が、市政の大問題になっていきます。7月21日の市議会教育福祉委員会で、保健福祉局長が、「8月に計画案の案をとり、9月に敬老乗車証条例の改正案を提案予定」と答弁しました。井上議員の質問に答えました。今春に「計画案」が出たばかりなのに、まことに、市長の

改悪のスピードは半端ではありません。現行同条例には、交付開始年齢や負担金(年一回もらう時に払うお金)のことが書かれており、現行70歳を75歳以上に、負担金の値上げ、などが焦点になっています。この日の委員会にも「現行制度の



ままで」との請願・陳

### 職員の労働条件は子どもたちの保育条件

また同委員会、井上議員は、学童保育利用料の値上げ案や、民間保育園職員の賃下げ案は撤回すべきと求めました。保育園職員の国基準賃金水準が低すぎる為、京都市をはじめ、特に大都市では、自治体が上乗せしてきました。その補助を、

情が477件も寄せられています。引き続き、議会へのアクションや「市長への手紙」、各地域での学習会などに取り組みましょう。



今回、市長は大幅に削減しようとしています。「低賃金は労働の質を低める」と、井上議員は、職員の生活にかかわるとともに、子どもたちにとっても悪影響大だと、削減案の撤回を求めました。



### 「敬老乗車証守れ」と、座り込み行動

7月19日、年金者組合を中心に、「敬老乗車証守ろう、連絡会」の皆さんが、市役所前にて、早朝宣伝と座り込み行動。市職員や道行く市民に訴えました。井上議員も参加させて頂きました。

### 市長の「改革案」は教育分野にも

市長の切捨て計画は、教育の分野にも及んでいます。学校や図書館の統廃合・集約化・再配置の検討や、塔南高校跡地の「売却や貸付等、民間による活用を早期に図ります」等の方針が掲げられています。井上議員の質問に、教育委員会は「詳細は未定。検討中」との答弁のみ。

### 市民の皆さんの声

市長の「改革計画案」への市民意見は、既に締め切られ、現在、市において集計中です。今後は「市長への手紙」などの方法で、意見を市長に届けましょう。これまでに市民意見の一部を紹介します。◎「財政破綻」とのことだが、ではそうなた責任者は誰だ?

### 問題の核心は政府の検査軽視

議会には、大学生のグループからも「PCR検査の実施を」との陳情が寄せられています。井上議員は、専門家の書籍も引用し、「最大の教訓は、政府の検査軽視が感染拡大の大きな要因となってきた。市もこれに追随してきたことの反省と総括が必要」と指摘しました。

◎「改革」と言うが、それは何だ。結局、弱者に負担させて済ますつもり? ◎インバウンド頼みやめ、暮らしにお金を使うこと。 ◎何をもちって成長というのか。大型事業が成長なのか? ◎敬老乗車証は今のままで。外に出る機会を奪わないで。 ◎国保料は引上げないで下さい。今でもお医者さんに行くのを我慢しています。 ◎市職員、特に消防職員の削減に反対します。市民の安心・安全の要